

宝塚大学 看護学部 看護学科 2021年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

担当教員	専任／非常勤	2021授業科目	科目ナンバー	必修／選択	単位数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
澤田 京子	専任	基礎看護学Ⅰ (概論)	KSP11101	必修	1	総合病院で看護師として内科と外科での臨床経験がある。また、企業の健康管理室での健康教育に携わった。	臨床での事例を踏まえて、看護の役割・機能を教授する。また事例を用いて主な理論の活用についても教授する。
		基礎看護学Ⅲ (健康教育)	KSP21201	必修	1		
北島 洋子	専任	基礎看護学Ⅱ (コミュニケーション技術)	KSP11201	必修	1	大学病院で看護師として小児科病棟に勤務し、血液疾患や悪性疾患の看護に携わった。また、腎泌尿器専門病院に勤務し、人工透析や糖尿病の看護を経験した。	小児期から成人期、老年期にわたる各発達段階に応じた看護を提供するための、基礎的な知識と技術、看護専門職としての基盤となる考え方を修得するための学習を支援する。
		基礎看護学Ⅳ－１ (基礎看護技術)	KSP11202	必修	1		
		基礎看護学Ⅳ－２ (基礎看護技術)	KSP11203	必修	2		
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	必修	1		
尾ノ井 美由紀	専任	基礎看護学Ⅲ (健康教育)	KSP21201	必修	1	総合病院で看護師として手術室、脳外科病棟と一般内科病棟で5年の臨床経験がある。また、保健所で保健師13年の経験がある。	病院入院中の療養者への臨床看護から退院へと、地域移行支援における看護師の役割から在宅療養中の本人及び家族への看護を教授する。また、疾病から健康の維持・増進と健康段階に合わせた看護提供の必要性を教授する。
		在宅看護論Ⅰ (概論)	KSP21109	必修	1		
		在宅看護論Ⅳ (地域ネットワーク論)	KSP31203	必修	1		
平野 加代子	専任	基礎看護学Ⅳ－１ (基礎看護技術)	KSP11202	必修	1	総合病院で看護師として急性期病棟(外科、内科、小児科、脳神経系)、助産師として産婦人科外来、産科病棟での臨床経験がある。また、看護学生の実習指導にも携わっていた。	臨床での事例を踏まえて基礎看護技術を教授する。また臨床で日常的に行われているフィジカルアセスメント・看護過程の展開や事例提供を行い、より臨床に近い状況を想定した授業内容を教授する。
		基礎看護学Ⅳ－２ (基礎看護技術)	KSP11203	必修	2		
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	必修	1		
		基礎看護学Ⅵ (看護過程)	KSP21203	必修	1		
梅川 奈々	専任	基礎看護学Ⅳ－１ (基礎看護技術)	KSP11202	必修	1	看護師として、総合病院の脳神経外科、整形外科、産婦人科等での臨床経験がある。	実践で使える技術の習得に向けて、根拠をふまえた基礎知識、技術について説明を行いつつ、デモンストレーションにも力を入れている。看護過程の展開の為に必要なスキルの基礎を教授する。
		基礎看護学Ⅳ－２ (基礎看護技術)	KSP11203	必修	2		
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	必修	1		
		基礎看護学Ⅵ (看護過程)	KSP21203	必修	1		
瀬山 由美子	専任	基礎看護学Ⅳ－１ (基礎看護技術)	KSP11202	必修	1	総合病院の看護師として脳外科、内科、手術部での臨床経験がある。	日常生活に関する援助の知識や診療に伴う看護技術について、自らの実践経験を踏まえ教授、指導する。また、指導に際しては具体的な根拠を適宜説明する。
		基礎看護学Ⅳ－２ (基礎看護技術)	KSP11203	必修	2		
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	必修	1		
中川 ひろみ	専任	成人看護学Ⅰ (概論)	KSP11102	必修	1	大学病院で看護師、認定看護師、看護師長として内科と外科、集中治療室・救急部での臨床経験がある。成人期にある人々を対象とした看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ急性期、慢性期、終末期にある成人期の人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
		成人看護学Ⅱ (急性期・回復期援助論)	KSP21204	必修	2		
		成人看護学Ⅲ (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1		
		成人看護学Ⅳ (援助方法論)	KSP31301	必修	2		
房間 美恵	専任	成人看護学Ⅰ (概論)	KSP11102	必修	1	総合病院で看護師、看護師長として腎臓内科や免疫内科、内分泌内科、呼吸器内科、泌尿器科などの臨床経験があり、看護学生の実習指導に携わってきた。	実臨床での具体的な事例をもとに、慢性的な病いをかかえて生きる人々がもつ課題を理解し、問題解決への取り組みができるよう看護理論を踏まえながら解説を行う。
		成人看護学Ⅲ (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1		
		成人看護学Ⅳ (援助方法論)	KSP31301	必修	2		

担当教員	専任／非常勤	2021授業科目	科目ナンバー	必修／選択	単位数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
國松 秀美	専任	成人看護学Ⅱ (急性期・回復期援助論)	KSP21204	必修	2	総合病院で看護師、認定看護師、看護師長として、循環器・呼吸器内科・救命救急センター・集中治療室での臨床経験がある。シミュレーションを用いたスタッフ教育を実践してきた。また、新人看護師専任師長として、新人看護師教育に携わっている。	健康障害を持つ人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、患者の気がかりを中心とした情報を解釈・分析し、科学的根拠に基づいた看護が実践できるよう教授する。
		成人看護学Ⅲ (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1		
		成人看護学Ⅳ (援助方法論)	KSP31301	必修	2		
浅井 直子	専任	成人看護学Ⅲ (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1	看護師として医療型障害児入所施設にて、呼吸器内科の臨床経験がある。呼吸療法認定師として、スタッフ教育に携わってきた。	臨床での経験をもとに、呼吸ケアの知識や技術についての学習支援を促す。
		成人看護学Ⅳ (援助方法論)	KSP31301	必修	2		
森永 聡美	専任	成人看護学Ⅲ (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1	医学部付属病院、地域拠点病院で看護師として形成外科、婦人科、整形外科などの看護実践を経験した。特別養護老人ホームでは認知症高齢者の看護実践を経験した。在任中は臨床指導者、現任教育委員として実習教育、現任教育に携わった。	臨床での実践経験をもとに、急性期～回復期、慢性期の看護について学生が対象者の個性性を考えるための支援をする。臨床指導者、現任教育の経験を生かし主体的な学生の学びを支援していきたい。
		成人看護学Ⅳ (援助方法論)	KSP31301	必修	2		
山本 裕子	専任	老年看護学Ⅰ (概論)	KSP21101	必修	1	看護師として、総合病院のICU病棟と消化器外科病棟における病院看護を実践してきた。さらに、介護老人保健施設において中間施設看護と認知症高齢者の看護に携わってきた。の経験を有する。	実践例を通して、対象者の多様性に則した対象者把握・アセスメント・看護援助の方法に関する思考過程を育成し個別看護について教授する。加えて、認知症高齢者のBPSDへの対応などについて具体的な看護援助を教授する。
		老年看護学Ⅱ (疾病と障害)	KSP21102	必修	1		
		老年看護学Ⅲ (理論とアセスメント)	KSP21206	必修	1		
		老年看護学Ⅳ (症状とケアプラン)	KSP31201	必修	1		
高橋 みどり	専任	老年看護学Ⅱ (疾病と障害)	KSP21102	必修	1	看護師として、総合病院の手術室、外科病棟等の臨床経験がある。	臨床での経験をもとに、高齢者の生きてきた生活背景や価値観を理解することや、高齢者の残された機能を維持する看護について教授する。
		老年看護学Ⅲ (理論とアセスメント)	KSP21206	必修	1		
		老年看護学Ⅳ (症状とケアプラン)	KSP31201	必修	1		
上山 直美	専任	母性看護学Ⅰ (概論)	KSP21105	必修	1	大学附属病院、国立病院、助産所、保健センターにおいて助産師としての臨床経験がある。	周産期の女性と新生児に対する心身、社会的な側面と特徴と看護ケアの指導、看護過程の展開について教授する。
		母性看護学Ⅱ (女性生殖・周産期医療)	KSP21106	必修	1		
		母性看護学Ⅲ (周産期アセスメント)	KSP21208	必修	1		
		母性看護学Ⅳ (周産期ケアマネジメント)	KSP31202	必修	1		
東尾 公子	専任	母性看護学Ⅲ (周産期アセスメント)	KSP21208	必修	1	助産師として、総合病院の産婦人科病棟、助産師外来の臨床経験がある。	臨床での経験を踏まえ、ウェルネスの視点で周産期の対象と新生児の看護について教授する。
		母性看護学Ⅳ (周産期ケアマネジメント)	KSP31202	必修	1		
牧野 裕子	専任	在宅看護論Ⅰ (概論)	KSP21109	必修	1	大学病院および公立病院看護師として、心臓血管外科、消化器外科、精神科看護の臨床経験がある。また、企業健康管理室にて従業員と家族に対する健康教育に携わってきた。	日常生活に即した、療養者と家族に対する疾病管理および健康の保持・増進にむけた健康支援の在り方と、疾病・障害をもつ療養者の在宅移行支援について講義する。
		在宅看護論Ⅱ (訪問看護の展開方法)	KSP21210	必修	1		
		在宅看護論Ⅲ (在宅ケアの演習)	KSP31303	必修	1		
大内 由梨	専任	基礎看護学Ⅲ (健康教育)	KSP21201	必修	1	大学病院・公立病院において、看護師としての臨床経験がある。また、企業健康管理室にて保健師として臨床経験がある。	病院入院中の療養者への臨床看護から退院へと、在宅療養中の本人及び家族への看護を教授する。また、疾病から健康の維持・増進と健康段階に合わせた看護提供の必要性を教授する。
		在宅看護論Ⅳ (地域ネットワーク論)	KSP31203	必修	1		

実務経験のある教員等による授業科目の単位数

27 (重複科目は除く)